

日本繁殖生物学会表彰規程

第1条 本会は十分な学会歴を有し繁殖生物学に関する基盤研究、応用研究、技術向上普及等に顕著な功績のあった正会員をこの規程の定めるところにより表彰する。

第2条 本会は毎年1回総会の際に、理事長の名において受賞者の表彰を行う。

第3条 本会は受賞者に表彰状を授与する。

2. 本会は表彰に際して副賞を添えることがある。

3. 本会は総会の決議を経て、表彰状および副賞に名称を冠することができる。

第4条 第1条にいう基盤研究および応用研究に関する顕著な功績とは、本会機関誌（Journal of Reproduction and Development）に発表された研究業績を対象とする。また、本会が主催する学術集会（大会）、学術講演会などにて発表されたものも対象とする。機関誌以外の関係誌に発表された研究、あるいは本会以外の関係機関が主催する学術集会にて発表された研究も上記の業績に加えることができる。

2. 技術向上普及等への顕著な功績とは産業現場の発展に貢献する繁殖技術の普及や開発に関する業績であり、対象となる業績は必ずしも本会機関誌に発表されたものである必要はない。

第5条 正会員は受賞候補者を推薦することができる。

2. 推薦者は、受賞題目、受賞候補者の氏名・所属・履歴・業績目録および推薦理由に推薦する賞の名称を明記し、推薦者の氏名を添付した所定の様式の推薦書を理事長（学会事務局宛）に提出する。

3. 推薦書等の様式は別途理事会が決定する。

4. 推薦書の提出期限は前年度の6月30日（消印有効）とする。

第6条 本会は表彰選考委員会を設置する。

2. 理事会は毎年、次々年度の表彰選考委員会の委員長および委員を決定し、理事長がそれぞれを委嘱する。

3. 第5条の推薦者は表彰選考委員会から除外し、これによる欠員は原則として補充しない。

4. 表彰選考委員会（委員長）は受賞候補者の審査結果を理事会に報告する。

5. 理事会は表彰選考委員会の審査結果に基づいて受賞者を決定する。

第7条 繁殖生物学に関して他の学術団体から表彰された業績は、本会の表彰から除外される。

附 則

本規程は2008年4月から施行する。

- ・本会は第3条第3項に基づいて、繁殖生物学の基礎および応用部門に日本繁殖生物学会賞・学術賞、普及部門に日本繁殖生物学会賞・技術賞の名称を冠する。他に若手研究者（受賞する年度の4月1日付けの年齢が原則として40歳以下の正会員）の優れた業績に日本繁殖生物学会賞・奨励賞の名称を冠して表彰することができる。

- ・すでに日本繁殖生物学会賞・奨励賞を受賞した者が、日本繁殖生物学会賞・学術賞あるいは日本繁殖生物学会賞・技術賞を受賞することを拒まない。ただし、各賞とも受賞は1回に限る。

- ・各賞は、毎年若干名を選ぶことができる。

繁殖生物学会表彰規程の一部改正

1981年 7月27日

1987年10月24日

1990年 2月26日

1995年10月14日

1998年 8月24日

2000年10月 3日

2001年 9月 6日

2003年 9月11日

2007年 5月12日

2012年12月15日